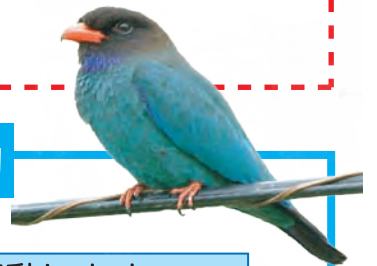


ブッポウソウ観察・撮影マナー

ブッポウソウにとって繁殖を脅かす存在は、自然界においてはカラスなどたくさん存在しますが、**一番恐れるのは繁殖場所である巣箱に長時間注目する人間です。**カラス等が巣箱に近づいた場合は威嚇行動をとって追い払うことも可能ですが、人間に対してはそれも出来ません。巣箱に注目する人間が居ると遠くから見守るだけで巣箱に戻りません。親鳥が長時間巣箱に近付けないと中に居るヒナに餌を運べず、成長盛りのヒナに対して多大な悪影響を及ぼします。こうしたことから、ブッポウソウ観察に際しては、下記の《観察・撮影マナー》をぜひ守ってください。地域の財産である稀少鳥ブッポウソウの保護のため、皆様のご協力、ご配慮をお願いします。

観察・撮影マナー

- 1) 観察や写真撮影は、必ず巣箱から50m以上離れた場所からしてください。
- 2) 1項の場合でも20分以上留まらないでください。
- 3) 許可なしに水田の畦、畑地へは絶対に入らないでください。
- 4) 民家の近くで観察する際はその家に声をかけてください。
- 5) 狭い道路が多いので交通の邪魔になるような駐車はしないでください。また狭い農道に車を乗り入れないでください。



ブッポウソウの繁殖日程及び行動

営巣場所選定期	[5月初旬～5月下旬] 昼間でも観察できますが、特に朝夕活発に行動します。
抱卵、抱雛期	[5月下旬～6月下旬] 巣箱の外に居るブッポウソウは半減します。巣箱を監視するように少し離れた枯れ木や檜の頂上に止まっています。
給餌期	[6月下旬～7月下旬] 給餌の最盛期は7月初旬～7月中旬。雌雄は頻繁に餌を巣箱へ運ぶので最も観察しやすい時期です。
巣立ち	[7月中旬～7月下旬] 巣立ち直後の約1週間、ヒナは巣箱付近で親から餌を受け取ります。この頃が成鳥・幼鳥を含め最も個体数が多い時期です。

※8月に入ると朝、夕を除きブッポウソウの姿を見ることはあまりなく、9月には姿を消します。また、全期間とも雨天時は枯れ木や檜の頂上に止まって、殆ど行動せず、視界が悪い日は観察に適しません。